

きずな



津田沼分会
No.48

2023・
5・2

発行責任者
鈴木 浩
編集・教宣

非番者集会開催

4月14日、分会統合後初の非番者集会を開催しました。鈴木分会長のあいさつの後、分会組合員でもある加藤委員長から情勢を含めたあいさつの後、各職場から様々な報告がありました。

■コロナ規制緩和により窓口のビニールシートが撤去された。改札窓口にはマスクを着用



しないお客様も来るためビニールシート撤去に不安を感じる社員もいるが周知も相談も無く一方的にやられてしまう。

■オフピーク定期券など勉強会はほとんどの社員は1回のみ。

■通学定期券の発売繁忙時期がゴールデンウィーク前売りと重なり、改札窓口を離れる時間が多い。学校の最寄り駅では助勤を設けて通学定期券を発売した。ほとんどの駅にはみどりの窓口が無くなったため、学校最寄りの券売機前だけでなく自宅最寄り駅の券売機前も混雑してしまう。

・小児用 Suica は券売機の外と中で対応が必要となるため、誤発売を防ぐため二人で対応できるときのみ発売して

いる。

■バリアフリー運賃による運賃改定が実施されたが自動精算機での大型券対応が間に合わず、改札窓口でしか精算できないため苦情を受けることもあった。

■みどりの窓口の設置駅があまりにも少ない上に営業時間が短く、案内に困る。閉鎖しすぎたために改札でも払戻しをするようにと言う施策は本末転倒だ。



新学期とGWの前売りが重なった時期にJESS支店よりメールが配信されました。「高校の入学式のピークを迎



■みどりの窓口のある駅の改札では「キリがない」という理由で券売機対応をしないというのはどういうことか？ それならみどりの窓口の営業時間を伸ばすべき。

■JESSの支店が様々な取扱件数を知りたがるのはなぜなのか？ 忙しい時には件数の把握など二の次だ。

■駅近隣のホテルの稼働が増え外国人旅行者が多くなり、Suicaの発売枚数も増えた。対応に時間がかかり案内時に順番待ちができることも。

など職場の実態が報告されました。

え、GWの前売りもあるの
で各駅、通学定期券を券売機で積極的に発売するとも
に列ができた場合は積極的
に外に出て案内していただき
たい。各駅最善をお願いし
ます」と言う物でした。
相次ぐ「みどりの窓口」廃

止の影響を受け、精算や案内・遺失物などを扱う改札で新年度の通学定期券発売の確認手続きをし、窓口を離れて券売機での対応を強いられています。改札窓を閉め券売機対応が続くこともあります。そんな最中に「最善を」と言うメールが配信されました。各駅、足りていないとは言えない要員体制の中で最善を尽くしています。そんな現場に支店はどんな「最善」を用意してくれるのだろうか？

駅業務に特化した会社を謳い文句にしているのに○

○長と名のつく方々は窓口で対応することも無く、繁忙期にも駅業務に携わることはありません。欲しいのは「励ましのお便り」より現実的な手助けです。

◎ 次回職場集会

5月12日地本会議室

千葉地本HP

